

神戸遊戯誌

42

●サッカーチームより強い中学チーム
専門学校より強い中学チーム
青木重雄

最強とうたわれた御影師範卒業生に教えられて、
後にはその強敵に成長した小・中学校選手たち



大正末年、神戸ではじめて行なわれた国際試合。相手は第一次大戦の捕虜となっていたチェコスロバキヤ軍人チーム

鳴尾で開かれたこの試合時の両校応援団の熱狂ぶりはすさまじいかぎりで、殺気をはらんだ応援団がこわくて普通の審判員ではつとまらず、同大会第一回からのベテラン審判員である上野義一氏をわざわざ京都から呼んだが、試合がすんから帰路がこわく、審判員にもしものことがあつては大変と、同氏はじめ各審判員を駐在所の巡回が阪神電車の鳴尾駅まで護衛していったほどだった。なお、この大会になつて中学の部の参加チーム（専門学校の部は早稲田高等学院、神戸高商、松山高校、関大、関学の四校で早稲田が二対一で関学を破つて優勝）は初めて二十校を越えて二十一校の多数となつたが、次のことおり全部近畿地方の学校で、いかに日本のサッカーがはじめ関西地区から育つていったかということが知られるわけだ。

高津中、桃山中、御影師範、京都師範神戸二中、海草中、明星商、滋賀師、天王寺師、泉尾工、池田師、岸和田中、姫路師、神戸商、市岡中、関学中、甲陽中、神戸一中、大阪工業、生野中、奈良師だったが、御師と神戸

大正十四年の第八回全国大会に宿敵御影師範を初めて三対〇で堂々と打ち破った神戸一中のショート・バス戦法の勝利の蔭にはこんな秘話がある。十二年のことだが、早大を指導していたモン・チャーデン（現在は故人）というビルマ人が御影師範に招かれて一週間コーチに来神した。この機会をうまくとらえて、一中でも大先輩範多龍平の骨折りで御影師範には無断である日チャーデンを宝塚歌劇に誘い、実は歌劇の方はそこそこにアラカジメ一中チームをユニフォーム姿で待機させていた宝塚グラウンドに案内、いろいろと教えを乞うた。今だから話せる真相だが、この後彼から習つたサイド・キック、インステップ・キック、トライアングル・バス、スルー・バス、スライディング、タックル、ヘディングなどを活用したショート・バス戦法を一心に身につけたおかげでかんじんの御師のロング戦法を撃破できたわけだった。

一中については、従来から姫路、京都、池田の各師範、甲陽中などが強かつた。なかでも姫路師範が抜きん出ていて、兵庫県下では御師、神戸一中と三つドモエになつて争つたが、寄宿舎生活の選手が多かつたせいもあるが、御師と同様に師範独特のべら棒に荒っぽいサッカーで敵を悩ましたものだった。とくに姫路と御影がやる場合は共に派閥の点からも絶対に負けられぬ、という意地があつたため一段と壮烈で、ケガ人が出ることもたびたびあつた。このころは顔を蹴られても大目に見られていた（現今では人権尊重などの面からしだいにルールが変えられている）が、三人の選手がかたまつてゴール・キー・バーに体当たりしてボールを蹴り込んだりして、キー・バーが前歯を折ったことがしばしばあつた。

一方神戸での外人チームとの国際試合のハシリは大正七年、八年ごろに今の王子公園についた関学グラウンドで行なわれたが、相手は第一次世界大戦で日本に送られてきていたチエコスロバキヤ軍の捕虜だった。当時捕虜収容所は今のが縣立病院のところにあつたわけだが、関学のグラウンドは周がひろびろとしていてとても広い感じがした。出場選手の中に小寺延明(御師、後年関学へ、現在尼崎浜幼稚園長)、青木誠(大正八年関学卒)などがいた。

とにかく、県下サッカー界の前期のヒーローは御師と神戸一中で、全国大会の優勝数も第一回(大正七年)から第二十回(昭和十三年)までに御師十一回、神戸一中五回という不滅の金字塔を打ち立てている。師範と中学全体のレベルも高く、当時は専門学校よりも強かったわけで、大正時代は関学専門部などもまだ弱かつた。関学が強くなってきたのは早稲田を破った昭和二年ごろからで、これ以後神戸一中などにもやっと勝てるようになつた。このように師範と中学が大正時代を通じて強かつたところへ、昭和になってからK.R.A.Cの刺激があつたため神戸のサッカー界全体のレベルはいっそう向上して、御師と神戸一中が全国大会で交互に優勝を続けた昭和二年から十年ごろへかけては、全く全国に名だたる黄金時

代の観があった。だからこの時代の県下の各強チームには名選手がキラ星のように並んでいたわけだが、その一部を次に拾つてみると

まず、神戸一中では初めて御師を破った時の北川貞義（のち八高）岩田貞吉（死）の両FB、FWの沢野定長（静岡高—京大—戦死）野口公義（三高—京大）HBの永野武（八高—京大で活躍）や、第十二回大会の兵庫予選で再び超中等級を持つ御師を破った時の吉田三郎（六高—阪大）HBの小橋信吉（神戸高商、戦死）FWの右近徳太郎（慶応、戦死）などの当時のさうとしたことは、若武者ぶりが忘れられない。それにしてもこれらの時代の各チームの名選手中に大戦での戦死者が多かつたことはまことに痛ましいかぎりだった。御影師範では、大正十三年ごろからの庵原三郎（FW）はじめ山口定夫（同上）神代勝一（HB）、昭和二年の五味敏夫（HB）、四年ごろの山口保（旧姓琴井谷、現在洲本在FW）空野豊（同上）大橋真平（同上）、昭和六年の高原信夫（FW、戦死、兄さんは現在葺合高校々長）などが名選手としてとくに印象に残るが、山口が後年雲中小学校の教員となつてから育て上げた多くのサッカーの後輩が、後年神戸一中へたくさん入学して逆に彼の母校である御影師範の強敵となつたことは皮肉なことだった。この上御影の付属小学校の優秀なサッカー選手の中にも神戸一中へ進む者がかなり出てきて御師のサッカー選手をひやひやさせたものだ。またそのころ同大会の審判員をつとめた玉井操（早大選手、現在玉井汽船社長）が昭和六、七年の二年間同校のコーチ役を果たした功績も見逃がされない。

この他昭和初期では、馬(神三中)、関学、F B)酒井、松江(神二中、姫路高校)米沢(神二中、F B)山上(神二中)三崎(甲陽、関学)上田、小幡(神三中)重成(雲中、三中)の面々、さらに昭和六年に全日本天皇杯を獲得した関学クラブの後藤(ゴットンのニック・ネームで有名、主将、G K)東浦(甲陽出身)檀野(甲陽、神三中)の先生となる)堺井(神二中出身)などが光っていた。

神戸うまいもん巡礼

No.53

赤尾兜子

花隈の巻

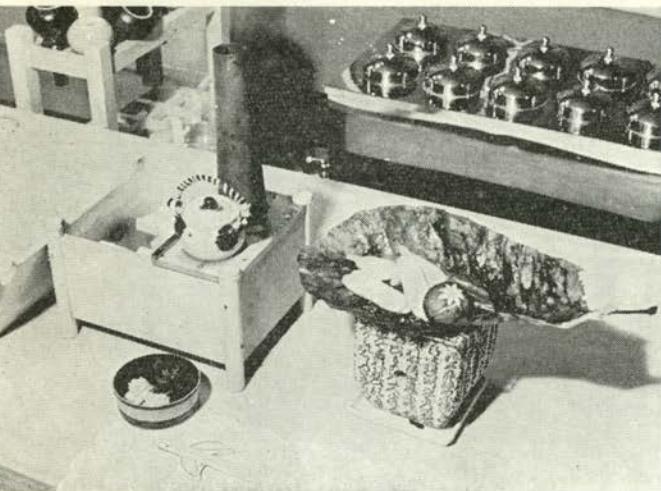
花隈という名、むかし荒木村重の居城であった花熊城から出た。青年初代知事、伊藤博文の好みが花隈を、やがて東京の新橋、赤坂などとならぶあでやかな夜の街としたのだが、戦後、それも近年になるほど、この街の色あいは、衰微のきしが濃くなってきた。特権階級地帯という印象がはびこって、足を入れる客種がひどく限定されてきたのである。

このほどできた割烹「古紋」（生田区花隈町四五）は、

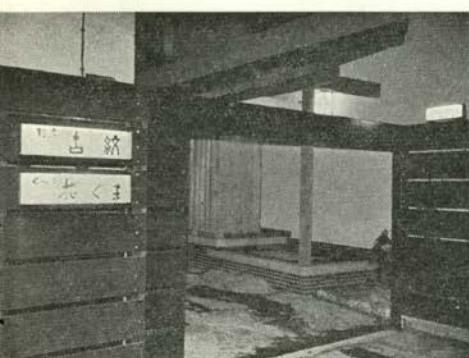
この時代の流れをキャッチして、花隈の停滞を破つてみようという意図が、ピンとくる店といつていい。花隈の料亭として五十年の歴史をもつ「松乃家」の女将としては若い鶴殿礼栄さんの経営。一、三千円あれば、食事と酒を楽しめるカウンター割烹で、会社の部、課長や青年層、アベックにも抵抗なく来てもらおうということなのである。

肌目の美しいヒノキの一枚板でゆつくりとったカウンターにすわって、バックミュージックのすべてが「小唄」「端唄」の日本調というおちついたフンイキ。

二十あまりの一品料理があるが、なかで「あげ豆腐」「朴葉焼」「湯豆腐」がいい。名だけでは、すこしも趣向がわからぬのだが、それを説明すると「あげ豆腐」は絹こし豆腐の水分を除いて、新しい油で揚げ、それを酒、味淋などでとった濃い目の汁にうかせて、大根おろし、しおがで味をしめるという念入りな手順（三〇〇円）。



民芸調ゆたかな古紋の湯豆腐（左）と朴葉焼（右）



伝統の花隈に生れたカウンター
割烹の店「古紋」

「朴葉焼」は、東北の雪国の民家料理にヒントをえて、大きな朴の枯葉の上に、こつてりした味噌をおき飛騨高山のねぎ、ピーマン、しいたけ、鶏肉、牛肉、えび、玉ねぎなどを炭火でやくという寸法（八〇〇円）。それに、こここの「湯豆腐」は、エントツをつけたフロの小型模型のような器具に炭火を入れ、そのフロのなかに豆腐がいるという形（五〇〇円）……といったふうに、器の選別を加えて優雅な、あるいは風雅な味づくりにこまかい苦心がみられるのである。応待は女将の長女曜富子さんとキモノ姿の若い女性の三人。そのせいもあって、明るい。午前二時までの深夜営業。

割烹「森本」（生田区花隈町三一）も、その意味で意欲的である。花隈にしては珍しい戦後派。この店では「鴨なんべ」がすぐれている。何かにつけて、天然ものにことかく最近なので、河内の人工飼育の鴨を材にして、スープを入れたなべにぎんなん、ねぎ、ゆり根、かぶら、しいたけ、白菜、春菊などを加えて煮あげ、それを卵の黄味おろしにつけて食べる。鴨肉にいくらかある臭味が殺されて、ソフトな美味が舌へくる。つきだし、季節の魚

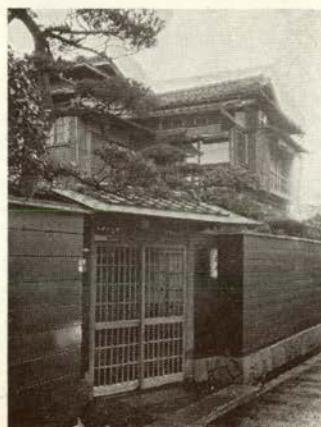
のさしみなどつけたコースで二、〇〇〇円。冬場はふぐ、各季節には魚料理をしている。川鉄や雑穀関係会社などの客がとくに得意客らしい。二階をふくめて八座敷があり、割烹の名が示すように、料理の方にウエイトをかけている。もともと、「一見（はじめての客）の客は断つているが。

余談だが、この店の女将、森本ひさえさんは、終戦すぐには元町五丁目にあつたクラブ「ロザモンド」のホステスをしていた。「ロザモンド」は瓦礫の神戸の街に、早々と生まれた唯一の神戸の名士が集まつたクラブであった。その後、自前で「おでん屋」をはじめ、二十五年「森本」を開店するにいたつたのだが、ともかく根っから商売がすきで、こんどはさんちかタウンにも同名のおでんと焼鳥の店を開いている。

この方は、娘と女婿がやっているが、時代を読んでゆく才覚があり、人あたりがいい。戦後の神戸味覚界に登場した女流の一人であろう。



写真上は柔らかい味覚を誇る森本の鴨なんべ
写真下は静かな情緒をたたえる花隈の「森本」



一点豪華淑女

文——名村喜久江
え——石阪春生



れど、いに、百
万円あるとする。こ

れをもつて、ある実
験をしてみたい。五
十万円ずつ山分けし
て、一人ずつの男女
に、自由に使っても
らう実験である。

五十万円にぎった

男性は、一体なにを
するだらうか。セコ
でもいいからスボ
ツカーを買うかもし
れない。競馬でハタ
くか、ちいと殊勝
な人で、山の中か海
辺に、猫の額ほどの
別荘地を買うか、え
い面倒だと、知り合
いの女の子に毛皮の
ストールを買い与えるか、それとも全部、一晩で飲んで
しまうか。

一方、五十万円にぎった女性は——。いそいそとデバ
ークがスーパーへ出かけるだらう。カラー・テレビが十六
万円、ニセ真珠のネックレスが五千円、バルキーセータ
ーが三千円、彼氏の肌着が上下で一千円、ブーツ一千円 e
t c — 「あら、百円あまつちやつたわ。では、ヤキイ

モでも——」といった多彩な買い物ぶりを展開するにち
がいない。

男性は、五十万円を一つの物にドカンと爆発的に消費
し、そのあと「五十万円なんて、あつてもなくとも、人
生ちつとも変わらないや」と、苦っぽい笑いと、虚無的
な満足感にひたるようだ。

しかし、女性はそうはしない。できるだけ細かく分散して、できるだけ多面的な満
足をトータルしようとはかる。

もちろん、男性のなかにも、アイビースーツ一万五千
円、バチンコ代千円、LPレコード三千円、トリスバー
支払い二千円、パッティングセンター使用料五百円——
といったコマギレ投資で五十万円を有効(?)に使うW
度の高いご仁もあるだらうし、逆にまた女性のなかにも
「アレもコレもなんて七面倒よ」と、ダイヤ一個にすべ
てを賭けるM度濃厚タイプもいることはいる。

しかし一般的にみて、男性は何か一つに集中的に燃焼
しやすく、女性はだいたい、分散型の多角的欲望追求派
が多いようだ。つまり男性たちは、一点豪華主義の信奉
者であり、女性のほうは、多次元ケチチ主義である。
なぜ、女性がこうなのか、天の与えた悲しきサガとし
かいようがないが、後天的な原因の一つとして考えら
れるのは、女性をつよく呪縛している“調和第一主義”
であろう。

この洋服には、どんな帽子とクツと、バッグとがお似
合いですとか、この程度の普請なら、家具・調度はこの
クラスがふさわしいとか、月収三万円のくせに、千五百

円ものビフテキはぜいたくよとか——。均衡だの、アンサンブルだの、平均だのといった言葉を、女性たちは免罪符のようにふりかざし、それを隠れ蓑としている。というより、その呪縛や暗示から女性は逃れられないでいるのが現実である。

一点豪華主義というのは、必ずしも最高の生き方ではないが、世の女性たちに欠けているのは、この一点豪華主義的行動ないし、その追求ではないだろうか。なんでもかんでも調和が第一、つりあいが最上——という考え方には、毒されすぎてはいないだろうか。

少々、変ナクリンでもいい、アンバランスでもいい、ドカント一発、悪しき調和主義、さかしらな平均主義を打破して、冒險してみようではないか。それこそ、新しいタイプの淑女たりうるのではなかろうか。

「でも、特売品のドレスに、本ものの真珠のネックレスをしたって、だれも本ものと思つてくれないわよ」という方もあるかもしない。それでも、いいではないか。他人に見分けがつかなくとも、本ものをまとうこの豪華な満足感それが、あなたの心の姿勢を、まぎれもない淑女にしてくれるのである。

一点豪華主義は、何も身の回りの物質のみに限ったことではない。教養もしかり、趣味嗜好においてもまたしかりである。

「A子さんて、何をきいても一応のことは答えてくれるのよ。でも、本当の悩みごとは打明ける氣がしないわ」何でもかんでも、広く浅く知つてゐる人は、便利大工みたいなもので、友人として重宝がられはするが、眞の友たりえない。

その点、B子さんはちがう。赤ん坊みたいだ。お金の



使い方はメチャクチャだし、実用的なことはあまり得意ではない。だが、こと星に関しては、友だちのなかでビカーナの物知りである。だれもが持っていないその特技によって、友だちの中でB子さんの存在価値は光っているのである。

淑女たるもの、何か一つ、他人にない豪華な知識、趣味、特技などをもつべきである。空に輝く星のことでもいい、深海にひそむ怪奇な世界のことでもいい、タイの

目玉の構造と機能、ハチの生態でもまたけつこう。

それを知つてることによつて、たつたいま、十円、百円、千円もうかるといった実利的な知識でなく、明日も来年もすぐ役立ちはしないだろうが、人生という長いロードレースで、また人間という社会的動物のつきあいにおいて、他人より一点だけ豪華な宝石をもつことによつて、あなたは、まぎれもない淑女になりうるのである。

△次号は鴨居羊子さん▼

た神戸港や、史編など後世に残る事業に力を入れるよう市二要望した。

「神戸カーニバル」は各

計画され、現在、参加者を募集している。近江学園、一麦寮、落穂寮、第一ひわこ学園、あざみ寮などの精薄児施設の見学を中心とした

を熱心に話し合い、有意義な一日を過そうというも。主催は、「誕生日ありがとう運動」本部と神戸市教育委員会で、神戸新聞事業団が後援している。

★東京・白木屋に三月十日東京店オープニングを控えた神戸シャツ(大丸前)と元町バザー(元町一丁目、東京は二月十三、十四日の二日間)、ヒルトンホテルで白木屋主催の展示披露会を催しました。会場には関東の政界界など知名人多数が招待されて盛大におこなわれました。

ブラジル領事館のにしきよど
け、目下研究調査中とか。

人が世界の人が参加できる
ような名物にしたいもの。
近江学園バス見学会に
参加しよう！



市民の開港100年祭を

今年の“みなと祭”は、神戸開港一〇〇年祭と、同時に開催することになっている。神戸市は、この神戸開港一〇〇年のフェアに積極的な動きを見せている。神戸市民は、いつも“港のまつり”が

盛り上がりを見せないままに済んでしまうのを残念に思っているのだ。
ところが、市当局がハッスルしようというのだから、この際、市民も市当局以上に大ハッスルしようというのが今月の提言だ。神戸市は開港都市だから、由緒ある祭りを全くもっていいない。口惜しいけれど、神戸にはいいお祭りがない。『神戸らしいいいお祭りが欲しい』これは神戸っ子の偽らない気持である。
お祭りの効用について理屈をいつて見ても始ま

スケジュールで、その他に糸賀園長を囲んでの話し合いや、往復のバスの中で、講師をまじえて、精闢問題一般と見学施設について、あるいは見学後の感想など

見学会は、今後も統けてやる予定。
今回の「バス見学会」の定員は七十名、費用は八百円。申込先は神戸新聞社厚生事業団、または誕生日ありがとう運動事務局。

日本では、祭りは人の心を浮き立たせ、和やかにするものはないのだ。日本の祭りには、みんな神仏がついてまわる例が多いし、こんな祭りは盛んになる。それはプロデューサーがはつきりして、根がしつかりしている。

らないが、祭りはどん人の心を浮き立たせ、和やかにするものはないのだ。日本の祭りには、みんな神仏がついてまわる例が多いし、こんな祭りは盛んになる。それはプロデューサーがはつきりしていて、枢がしつかりしている。

“港まつり”を成功させることは、やはり枢をしっかりとたてることだ。市民不在の神戸開港一〇〇年祭なんて意味がない。神戸っ子もこの際、頑張って市民の祭りをとり戻そう。

Y

さい。

伸びゆく 菊水總本店
瓦せんべい

創業明治元年



株式会社
菊水總本店

TEL (35) 1801 (代)

ステレオデッキの本格派

ステレオテープデッキ RS-766u

*録音・更生用プリアンプ内蔵

*酷使にも立派にたえる永久機構

*周波数特性は抜群

*テープ自動停止装置

*4ポールモーター



ナショナルテープレコーダ

ゴールドメカ・デッキ

現金正価￥38,000・月賦正価￥41,100

あらゆる電化製品の店

元町電機

元町6丁目 TEL (35) 0081<代表>・4

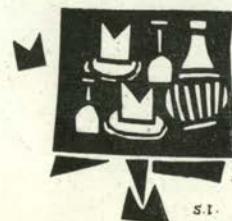


Tel: 23.2251

神戸っ子に贈る
最高を誇るレストラン
プラン ドゥ プラン

4月18日誕生

北野クラブの姉妹店
生田区京町神栄ビル7階
TEL 32-1455-6



樂しく なごやかな
KOBEの憩いの場で
ケエリオー!



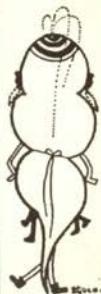
club Midori

毎日無休・大阪クリエジットビュロー取扱い 있습니다

神戸市生田区中山手通1丁目110
PHONE <33> 5543・7831

坂上 太佳子

☆神戸の集いから



★「上田富丈作品集」出版記念会開く

三十数年間、毎日の仕事のかたわら俳句をこよなく愛し、読みづけられた上田富丈さん（俳人雑誌「ギンガ」主宰）が、「あまのがわ」同人、生田区栄町3丁目、上田印章堂経営がこのほど、俳句と版画を組み合わせた「上田富丈作品集」（色刷り、百五十頁）を出版、その記念会が、さる2月5日、阪急三宮山側の香蘭亭で関係者約60名が出席しておこなわれた。お祝のスピーチも「上田さん

は神戸の俳句界において、現代語俳句を好み推進し貢献してこられたが、今後も元気に活躍してほしい」と同氏の温和な人柄をあらわすようにならへんごやかだった。

なお、この日の主な出席者は、赤尾兜子、荒尾親成、伊丹三樹彦、及川英雄、加藤洋星子、小林武雄、篠原正也、永田耕衣、橋間石、別車博資各氏など顔ぶれも俳人、画人と上田氏の人柄にふさわしいなごやかな良い会だった。

★竹谷千春氏主宰の「元町ダンス教室」オープニングパーティー盛大に開かれる

兵庫県舞踏教師協会理事の竹谷千

春氏（神戸市灘区本山町、印刷業）の主宰する「元町ダンス教室」がこのほど国鉄元町駅の山側にオープニング、さる一月八日盛大にオープニングパーティが開かれた。

同氏は社交ダンスキャリア二十年で、現在も印刷業のかたわら、兵庫県の社交ダンス界に貢献しているがホールでないレッスン場をという以前からの念願がかなつたもの。

この日東京、名古屋など全国各地から関係者約五十名がかけつけ、神戸の本格的な社交ダンス教室の誕



生を祝った。主な出席者は助川五郎（日本舞踏競技連盟東部総局長）青柳勇男（愛知県舞踏教師協会会長）妹尾太郎（KCC事務局長）石崎晴康（甲南ライオンズクラブ会長）潮田義美（前小学校長）山本恒（大阪出版社会長）小山賢之助（兵庫県舞踏教師協会会長）長沼隆（兵庫県舞踏教師協会理事長）小島鉄治氏ほか兵庫県舞踏教師協会全員が顔をそろえて、竹谷氏の幅広い経歴、交友から多彩な顔ぶれだった。

★ 第五回神戸っ子の会例会

“映画と講演の夕べ” 盛会に！

今年は神戸港開港百年をむかえます。神戸港の輝やかしい歴史を祝って、市当局をはじめとして各所で多彩な記念行事が予定されています。神戸っ子はこれを機会に神戸の歴史を振り返り、未来を夢みて大きく羽ばたいてゆかなければなりません。

この趣旨にもとづいて神戸っ子の会第五回例会は二月二十一日午後五時半からナショナル電化センター二階ホールで開かれました。

参加者は会員、百店会関係者など約50名。

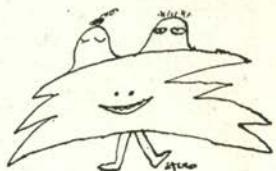
講師にむかえた諸岡博熊氏／神戸市役所調査室▽が、一時間にわたって「神戸の未来について」と題して、ユーモアをまじえて分りやすく話され、熱心な若い聞き手を前に熱の入った講演振り。

ひき続き神戸大学生の創作したドキュメンタリー映画 “六甲” を上映。

講演と映画が終ったあと行なわれたミーティングでは、神戸っ子はこぞって記念行事に積極的に參加して神戸の繁栄を考えたい、また“六甲”的製作態度、カメラ、アングルなどに若い世代の觀察力があつまり、にぎやかな話題を提供。有意義な例会となりました。

『神戸っ子の会』

会員募集



★ 「神戸っ子の会」(K·F·S)とは、こんなグループです。
「神戸っ子の会」の読者の集いです。読者の方々の親睦を深める集いです。
①神戸の文化は「神戸っ子」から生まれます
「神戸っ子の会」は神戸の文化をつくりだす有力な母体です。
②郷土の歴史とよい伝統を受け継ぎ、さらに高く発展させてゆく会です。
④政治・経済・文化という3つの柱をひとつに結ぶ会です。
⑤現代っ子のセンスと教養を高める会です。
⑥絵画・音楽・文学等のすべての文化領域において、新しい才能を發揮する広場です。

★ 「神戸っ子の会」会員には次のような特典があります。
①毎月「神戸っ子」をお届けいたします。
②「神戸っ子」編集部で主催するさまざまな催しに参加することができます。
③郷土の歴史とよい伝統を受け継ぎ、さらに高く発展させてゆく会です。
④政治・経済・文化という3つの柱をひとつに結ぶ会です。
⑤現代っ子のセンスと教養を高める会です。
⑥絵画・音楽・文学等のすべての文化領域において、新しい才能を發揮する広場です。

③神戸百店会でお買い物をされる方にいろいろ便宜を図ります。
④「神戸っ子」特選名画鑑賞会
⑤「神戸っ子」美術展覧会見学、古寺巡りなどを目的とするバス旅行。
⑥、神戸のうまいもんを食べる会。
⑦、流作家、学者、芸能人を講師に迎え講演会。
⑧、神戸っ子の会員にはその都度実費をいただく場合もございます。

★ 「神戸っ子の会」に入会するにはどうすればいいのでしょうか。
申込用紙(神戸っ子編集室へお申込みください)に所定の事項を記入のうえ、入会金二百円と会費三百円を、神戸っ子編集部へ納めていただきさえすればよいのです。美しく豪華な会員証を貰えます。その翌月からは毎月三百円を納めいただきます。

オール関西 3月号

■表紙 小磯良平

特集 ★大阪のビジョン

座談会—続新大阪論

大阪の可能性を探る!

小松左京・水谷頼介・能村竜太郎

河村重俊・岩下大輔

近畿圏の緑地計画/杉本正美・安部大就

■ぎゃんぐ・ほえっと/南地・法善寺裏=石浜恒夫

■関西女人伝=村山リウ=足立巻一

■鶴居羊子恋愛論/イレブントクターの恋愛診断=木崎国嘉

■女流レーサー日本初の300キロレース挑戦

グラビヤ・ルポ 星住輝子

■巷談/春色浪華鼓・三条家隆

■関市長の回想/上井柳

書店にて発売<¥ 190>

* 年間購読/2,400円 半年 1,200円

* 編集室/大阪市北区西寺町218 ニュー八千代ビル 振替 大阪 45083

御利用下さい。	明るい
ゆつたりと	暖かい
お座敷で	



神戸中山手四

TEL ② 7836-7846

料亭

赤坂

寒い冬には温かい鍋ものが一番です。

当赤坂名物△吉野鍋(若どりの変り鍋)

△清盛焼(神戸肉バター焼)

△藏王鍋(山海の珍味鍋)

△とび出す魚の魚ちり
△あっさりと牛肉のしゃぶしゃぶ

鮓	味	り	蜂
の	が	ん	蜜
又	い	ご	と
平	つ	酢	
	ぱ	の	
	い		

神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又平

電話・三の宮 ③ 0935

異人館物語

連載第五話

2

耽溺の詩人 モラエス

小山牧子 え・石阪春生



通じて、一通の電報を受取つた。

港務副司令を免じ、本国帰還を命ず、という電文であった。

あきらかに左遷を意味する電文を前に、モラエスはこの数カ月、彼の周囲で内密に企てられていた策謀がついに功を奏したことを知つた。

マカオに住むボルトガルの二世が、港務副司令の地位をねらい、相当なわいろを本国政府の要人に贈り、モラエスを追放してそのあとがまに坐る運動を続けていたことを、モラエスは知つていたのだ。

モラエスは、自分が左遷されたことよりも、金の力で人事問題までも左右させる本国政府の腐敗ぶりを悲しんだ。

そして次の瞬間、海軍士官としてボルトガルに忠誠をつくした過ぎた日々について思いをめぐらせた。その思い出は、どれもあまり楽しいものではない。

砲艦ドロウ号の砲術長として、モザンビークの黒人鎮圧戦争にてがらをたてたのは、モラエスが三十才を少しが過ぎた頃であった。

モラエスの命令で一斉に撃ちだされる砲弾。張りめぐらされた砲煙の中で苦悶の表情もあらわに腕をよじり倒れてゆく黒人たちの姿をまのあたりにして、モラエスは一瞬、祈りに似た気持を抱いて目を閉じたものであった。

モラエスは、マカオ政府から駐日ボルトガル公使館をその以前にも、彼はボルトガル政府の命を受け、日本から大砲や軍艦を買い入れるためしばしば来日し、神戸を訪れていた。そして、美しい日本の風物と人情、特に日本娘のやさしさ、しとやかさに深く心をひかれていたのであった。

しかし、マカオ港務副司令というボルトガル政府の要職にあったモラエスが、役職を投げだして日本移住を決意するためには、それなりにのつびきならぬ理由があつた。

明治三十一年十一月のことであつた。

も「コイ・タード（可哀そうに）……」とつぶやかずにはいられなかつたモラエスには、祖国のためとはいへ、植民地の叛乱鎮圧の戦列に加わることは、この上なく苦しい仕事であつた。

それに加えてアフリカの亜熱帯の風土は、彼の健康によくなかったのであろう。アフリカ近海に勤務している間、モラエスは、はげしい頭痛をともなう神経衰弱をわずらい、苦しみ続けた。

その病苦から逃れるために転勤を希望し、アジアにあるボルトガル植民地マカオにやつてきたモラエスに与えられた仕事もまた、苛酷なものであつた。港務副司令の職務のかたわらマカオ港阿片輸出入監督官の仕事が課せられたのである。

当時マカオは、昔の繁栄の面影はあとかたもなく、商品の輸出入はすべてイギリスの植民地である香港に持つていかれていた。マカオであつかう品物は阿片がおもであるといつた状態であつた。

そして、モラエスはやはり自分が監督して輸入した阿片が、現住民の肉体を日ましに蝕んでゆくことにたえがたい苦しみを感じた。

悲惨な現住民の姿を目のあたりにして、モラエスは憤りとるばかりで、一とかけらの文明も与えようとしたしない祖国ボルトガルの植民地政策を憎みはじめた。しかし、その政策にどのように批判的であろうとも、ボルトガルの軍人であるモラエスには、どうすることもできなかつた。ただ一つモラエスにできたことは、一年ほどでマカオ港阿片輸出入監督官の兼務を辞し、公務副司令の仕事に専念することだけであつた。

日本に来て公務副司令の職を免じるという電報を受取つたモラエスは、暗い絶望の思いに沈んだ。

本国に帰還し、ふたたび意に染まないままアフリカの植民地に黒人狩に出掛けてゆく自分の姿を想像したのである。

モラエスは、今年四十四才になつた自分の半生を思つ

た。楽しいことなど一つもなかつた半生。

「もうたくさんだ……」

モラエスは一人つぶやいた。

残りの人生だけは、自分の思い通りに、好きな場所で好きな仕事をして生きてゆきたい。

モラエスの胸にやきついた日本の風物の美しさが急に輝きを増し、彼をしっかりと捉えた。

ことさらに澄みきった陽光の中でやわらかい葉裏を見せて立並ぶ樹木。蟲音をあげて鳴るめずらしい滝。囁く小川。美しい田畑で飾りたてたふんだんに緑また緑の風景。花、虫、ありとあるもの。丁重な男と優美な女とからなるこの国の活気にあふれた生活ぶり。そして日本の都市の片隅にひっそりと在りつづける花街で知り合つた女たちのなよやかな姿態。

そうだ。残された人生を、この国の人々と共に暮らす——。モラエスの心はきまつた。

——帰国の意志まったくなし。軍と官とを辞し、日本へ移住する——

本国への返電を依頼したモラエスに、駐日公使館員は心配気な目をむけていった。

「いいとも。日本はいいところだ」

モラエスは笑いながら答え、そのまま彼らの前から姿を消した。

職もなく家族もなく、飄然と神戸にやつてきて旅館ぐらしをはじめたモラエスを見て、神戸在留のボルトガル人は仰天してしまつた。調べてみるとボルトガルでは由緒ある旧家の出身で、海軍中佐の肩書きを持つ有能な男であるらしい。

なんとかこの日本で生活のたつてゆくように面倒を見やらねばなるまい。彼らはやつかいな同胞モラエスのために奔走した。

その結果、神戸にボルトガル副領事館をつくり、モラ

エスにその仕事をまかせることになった。

「ありがとう。日本で暮らせて、おまけに月給がもらえるなんて、夢のようさ……」

モラエスは親切な同胞に感謝し、与えられた仕事にはげんだ。

最初の職名は、神戸・ボルトガル副領事臨時事務取扱いであった。しかし、前にも書いたように、モラエスは有能な男であった。

十年余りの年月が流れる間に、彼は神戸の初代総領事という要職を勤めるようになった。そして、住居も海岸通りのコロニアル・スタイルの建築様式をもつ総領事私邸から、加納町にある純日本式のこじんまりとした家に移り住んだ。やがて愁いをふくんだ面ざしの美しい日本の女性が、影のようにモラエスによりそって生きはじめた。福本ヨネである。

ヨネは最初、福原に籍をおき、のち大阪の松島に移つた徳島生まれのくるわ芸者で、モラエスはそれまでにも

来日のたびごとにヨネとなじみをかきねていたのであつた。

明治三十三年、神戸に住みはじめて二年目のモラエス

は、ヨネを落籍して海岸通りの家で同棲をはじめたのである。

長い間、憧憬をもつて思い描いていた日本で、美しくしとやかな愛妾ヨネを得て、モラエスは、はじめて人生のよろこびを知ったと思つた。

ヨネは生まれつき心臓が悪く、病床に伏せりがちであったが、モラエスの幸福感は、少しもそこなわれなかつた。

「すみません。ほんまに……」

どれほど気分が悪くてもきちんとした身だしなみで病臥し、モラエスに切なげなまなざしを送り、時には長いまづげを涙で濡らしながら詫びるヨネ。モラエスには、そのようなヨネの手を握ったり、やさしい言葉と共に背中をさすつてやるのも楽しみの一つになっていた。

モラエスとヨネの間は、最初から異国人と洋妾といった低俗な関係ではなく、モラエスはヨネに久遠の女性としての尊敬と愛をささげ、彼はヨネにまごころを求めて止まなかつた。

「何を考えるん？ モラエスさん……」

寝床の上に横になつたまま、ヨネは気弱に見おろしているモラエスに問い合わせたものだ。



モラエスは、長い年月ひとつのことが心にかかってい
た。

しかし、それを問うことが恐ろしかった。

—オヨネシヤン。スコシハワタシラアイシティル? —

と。

言葉になるうとする問いをのみこみ、モラエスは強く頭をふった。そんなはずがない。自分のような初老に近い異国人をこの美しいヨネが愛してくれるはずがない。しかし——とモラエスはふたたび思う。このやさしい仕草。淋し氣はあるがいつも浮かべている微笑。そしていつもモラエスの心の動きをうかがっている茶色の目。人は、金だけでこのような献身を他人に与えることができるだろうか。

モラエスは、ヨネの目に視線をあわせ、気弱な笑顔をつくるのだった。

そんな時、モラエスの脳裏を、きまつて三人の女性の顔がよぎるのである。
マリーア・イザベル、アルシー、亞珍——。その内二人、マリーアと亞珍は、モラエスを裏切つて去つた。マリーアは、ボルトガルの本国でモラエスが愛し抜いた人妻で、モラエスより十才年上の彼女は、長い年月狂人の夫を看病するだけで過ごしていた。マリーアの孤独と、モラエスの燃えていたる若い心は、いつか傾き合い、離れがたいものになつた。

不吉な怪鳥や獸のむくろを連想させる奇岩を、白く渦巻く怒濤が喰んでいるカスカイスの岩陰で、二人ははげしい抱擁をかさねた。しかし、はげしく愛し合つたあとマリーアはきまつて青ざめおびえたものであった。罪を負うもののみが知る底知れぬ恐怖にマリーアはおびえているようであった。

というのは、ポルトガルの国教はカトリックで撻がきびしく、一とたび結婚した以上、相手がどのような廢人になろうとも、生涯そいとげなければならないし裏切ることもまた罪悪とされていた。

死をもってあがなつても決して許されることがない罪の意識にたえかね、マリーアはモラエスの手に鈍く光る銀の十字架を残して彼のもとから去つた。

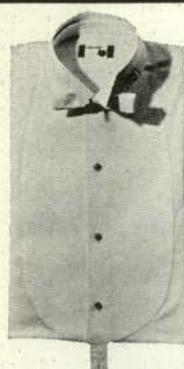
若いモラエスは、マリーアとの恋に破れ、生涯いやされることがない傷を負つた。楽しいものであるはずの青春日々は、暗い灰色に塗りつぶされているようであつた。マリーアへの執着が断切れぬままに、モラエスは二人の愛を引裂いた撻、彼の手の中に残された銀色に光る十字架を憎んだ。ボルトガルの国教カトリックそのものを憎んだ。

マリーア以外の二人の女、アルシーはモザンビーク勤務の時、同棲していた土人の女であり、亞珍はマカオに勤務中、人売市場で買求め同棲した中国人とイギリス人の混血少女であった。

亞珍には、モラエスとの間にできた二人の男の子がいたが、ある日、二人の子供をつれ、家財道具の一切を持つてモラエスのところから失踪してしまい、二人の同棲生活は終りを告げた。アルシーとの別離はもつと簡単でモラエスの方から金をやり国元へ帰らせたのであつた。三人の女について思いめぐらせた時、モラエスはすでに三人が三人とも遠い存在になつてしまつてゐることに気づいた。

マリーアとの恋の記憶は、生涯いえることがない傷としてモラエスの心に残つてはいる。しかし、それもむしろマリーアその人への執着よりも、その恋のため、モラエスが二人を裂いたカトリックの信仰を憎みかつ捨てたという自責にさいなまれてゐるための心のうずきといつた方がよかつた。

そして、心がうずけばうずくほどモラエスは、この神戸の街の片隅でヨネとのおだやかで情緒ゆたかな暮らしに溺れていたのである。



ようずゆ 機衣縫上處
神戸シャツ

大丸前 TEL (33) 2168



高級紳士服専門店

神戸テーラー

さんちかメンズタウン
生田区北長狭通 2 (阪急西口) TEL (39) 0388
TEL (33) 2817-3173



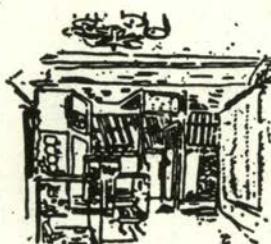
MEN'S SHOP

セブンティ

紳士洋品の店

千 祇 廣

元町4 TEL (34) 6959



世界の品々は
サノへでお選
びください。

ナフ // ハ

元町2丁目
(33) 4707-8



新古美術

播 新

神戸元町 3 丁目・③32516



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町 4 丁目 TEL ④ 7290

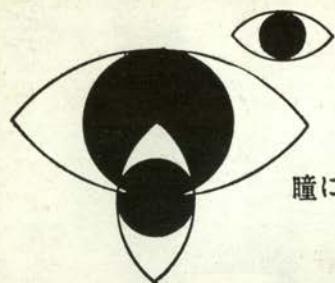
高級紳士服

神戸三宮生田筋 ③ 5797

山名洋服店

大上鞄店・いなみ

元町通 1 丁目 TEL 33・3962
さんちかメンズタウン TEL 39・4627

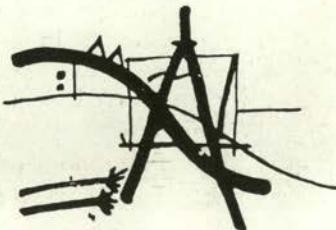


瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

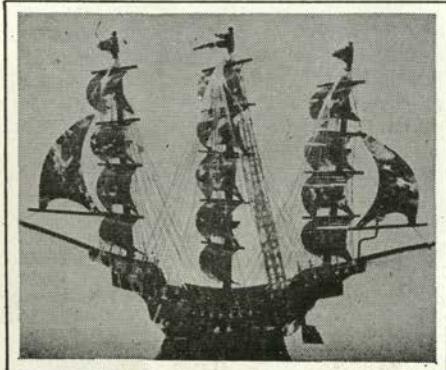
神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・8361

額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



未積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
③1309・6234



センスあふれる
べっ甲専門店

太田鼈甲店
元町1丁目 TEL ③6195

創業明治二十一年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街
TEL ⑨0256

確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店

神戸名物

瓦せんべい
欧風煎餅

クリーミュハッピー
クレームパヒロン

創業明治6年

龜井堂總本店

本店 神戸元町通6丁目浜側 ④ 0006 ④ 0151
売店 神戸 / 三越、そごう百貨店 大阪 / 阪神甘
辛のれん街、近鉄百貨店、松坂屋百貨店 東京 /
小田急百貨店、小田急のれん街、新宿ステーション
ビル有名物産内 九州 / 小倉東映、博多民衆駅

創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416

高級きものとおひ
しみぬき・活き洗濯専門店



平野
つるや東店

兵庫区神田町125
(家庭裁判所前東1丁)

TEL ④ 6932

力メヤ

楽しいおもちゃの店

さんちかタウン
三宮センター街

元町通二丁目
③ ⑨ ③ ⑨ ④ ④ ⑤
○ ○ ○ ○ 七六八
九〇 九一



一家団らんのひなまつり



ご贈答に風味豊かなカステーラ
長崎堂本店

本店=大橋町5 大五ビル (61) 0553-4
新開地店=松竹座前 (56) 2423
元町店=元町 6 (34) 4130
さんちかスイーツタウン (36) 3625

のれんが育てた
神戸の味

瓦せんべい
クリームパピヨン

亀の井亀井堂本家

神戸三宮トーアロード
電話 本店 33-0001
電話 南店 33-1616

おすし てんぷら

TEL さんちか味のれん街 三宮町二朝日会館前

(毎週月曜日休み)

営業時間 A.M. 11.30~P.M. 9

TEL 55772

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン
チョコレート・キャンドル

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話 231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話 251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話 571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目	電話 352-2436
	新宿ステーションビル地下2階	
	東京有楽ビル店 東京都千代田区有楽町有楽ビル	電話 213-2821

SNACK BAR
マゼラン

生田区加納町4丁目 TEL 39-2366

CLUB
路

清水よし子
生田区下山手通2丁目 TEL (39) 1515

洋酒の店 キャンティ
Chianti
榎 晴夫 TEL (39) 3060
213 KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE

CLUB
Young Bell
松田 真理子
生田・中山手2丁目89・TEL 33-3052